

群馬大学サマープログラム 2021

—減災・防災、地域生活習慣、多文化共生の観点から群馬県で日本の現代社会を学ぶ— 募集要項

1. 目的

本プログラムは、本学交流協定校あるいは将来本学の協定校と成り得る機関（以下協定校等）に在籍する学部学生および大学院生を対象に、「コロナ禍」という厳しい時期を含め、群馬の地域社会における様々な取り組みと現状について、減災・防災、地域生活習慣、多文化共生という観点から、日本の現代地域社会の実態を学ぶための短期集中コースです。日本社会や日本文化の理解を深め、あわせて群馬大学への関心を高めてもらうことを目的として実施するものです。

2. プログラム概要

日本のほぼ中央に位置する群馬県は豊かな自然環境と独自の産業に恵まれています。しかし、自然災害、生活習慣病、多文化共生、伝統文化の伝承など様々な問題に直面しており、これらは、現代日本社会が抱えている問題でもあります。そのため、本プログラムでは、群馬の社会、人、自然、文化についての多面的な知識を学び、体験することを通して、現代日本社会の抱える課題とその解決策を多国から集まる参加者と共に議論します。

そして、本プログラムは「グローバルとローカル」両方の知見と洞察力を持つグローバル人材を育成することを目標とします。群馬県を中心に、フィールドワーク、工場と研究施設の見学を通して地域社会との連携を取りながら、外国人留学生がまだ広く知られていない日本の地域社会の実態や課題を学ぶことができるコースとなっています。そして、主に群馬の地域社会、産業、医療、多文化共生、伝統文化等に関わる研究者が本プログラムの日本事情科目を提供します。授業のほかに、学生が主導的に研究プロジェクトを進められるように、日本人学生とのディスカッション、ワークショップと成果報告会も実施する予定です。

A コース：英語による日本事情コース

本プログラムは、日本事情英語講義、プロジェクトワーク、茶道・邦楽等の伝統的な日本文化体験、日本を代表する温泉地・草津への研修旅行を中心に実施します。また、日本人学生との交流の機会も用意しています。成果報告会ではプロジェクトワークの成果を報告します。プログラム修了者には修了証を発行します。

B コース：日本語によるプロジェクトワークコース

本プログラムは、日本語を用いたプロジェクトワーク、日本事情英語講義、茶道・邦楽等の伝統的な日本文化体験、日本を代表する温泉地・草津への研修旅行を中心に実施します。また、日本人学生との交流の機会も用意しています。各自設定するテーマに沿ってプロジェクトワークを実施し、成果報告会で報告します。プログラム修了者には修了証を発行します。

3. 参加資格・条件

A コース：英語による日本事情コース

- ◇ プログラム終了時まで群馬大学が指定する協定校等に在籍している学部学生又は大学院生
- ◇ 日本事情に興味、関心を持つ者（日本語の既習、未習を問わない）
- ◇ 英語による講義を理解でき、英語によるプロジェクトワークが遂行可能な者
- ◇ プログラムのすべての日程に参加できる者
- ◇ 来日前に海外旅行保険に加入すること

B コース：日本語によるプロジェクトワークコース

- ◇ プログラム終了時まで群馬大学が指定する協定校等に在籍している学部学生又は大学院生
- ◇ 日本語能力は中級レベル以上であり、日本語によるプロジェクトワークが遂行可能な者（日本語学習時間 600 時間程度、日本語能力試験 N3 合格レベルであること）
- ◇ 英語による講義を理解できる英語能力を有する者
- ◇ プログラムのすべての日程に参加できる者
- ◇ 来日前に海外旅行保険に加入すること

4. 実施期間・定員・参加費

実施期間：2021年6月29日（火）から7月9日（金）まで（11日間）

定 員：15名（各コース3名以上で実施）

参加費：25,000円

参加費は、授業に関わる費用として使われます。その他、プログラム期間中の宿泊費および研修旅行費が別途かかります。また、渡航費、現地での交通費、食費、海外旅行保険の加入費用等が自己負担費用として掛かります。

5. 宿泊

宿泊は大学が準備する宿泊施設を利用します。

コンフォートホテル前橋 一泊約 5000円（無料朝食付）

<https://www.choice-hotels.jp/hotel/maebashi/>

6. プログラム日程

※プログラムスケジュールは仮のものです。4月以降に確定スケジュールを公表します。

【A（英語による日本事情）コース】

6月20日(月) 事前オンラインオリエンテーション：コロナ感染予防情報と入国サポート

	AM	PM	PM	PM
6/29 (火)	オリエンテーション	ウェルカムパーティー	キャンパスツアー	学生交流
6/30 (水)	日本事情①群馬の温泉町と建築	日本事情②群馬にはなぜ糖尿病が多いのか	大学施設見学	
7/1 (木)	プロジェクトワーク	伝統文化体験（邦楽）		学生交流
7/2 (金)	日本事情③カイク：日本と群馬におけるこれまでの歴史と将来の可能性	(削除)		
7/3 (土)	研修旅行（温泉）草津+四万			
7/4 (日)				
7/5 (月)	日本事情⑤日本の仏教美術：十牛図の美術的、普遍的、実践的解釈	文化体験（茶道）		学生交流
7/6 (火)	日本事情⑥日本の伝統演劇～群馬を越えて～	プロジェクトワーク		
7/7 (水)	日本事情⑦群馬の空き家と人口問題－アメリカとドイツと比較して－	プロジェクトワーク		学生交流
7/8 (木)	報告会準備	成果報告会		
7/9 (金)	修了式	フェアウェルパーティー		

7月22日(月) 事後学習：健康状態確認と学習成果の振り返り

◆日本事情講義

タイトル	授業概要
担当講師	
群馬の温泉都市と建築	これまで、日本の温泉に関して、源泉の成分や効力または湯治文化が注目されてきた。しかし、古くから、日本人は、温泉都市、温泉宿、違う種類の入浴施設の設計に力を入れてきた。そこには、「水環境と都市・建築・人間」という大きなテーマが含まれている。そのため、本授業では、「温泉都市と建築」という観点から、多くの温泉資源を有する群馬県の温泉文化を探りたいと思う。
国際センター 陳雲蓮講師	
群馬にはなぜ糖尿病が多いのか	糖尿病は、世界で最も一般的な生活習慣病の一つである。群馬には非常に豊かな自然と健康的な環境があるにもかかわらず、糖尿病患者数が他の地域よりもはるかに多い。普通、きれいな空気、水、自然は人々を健康にすると考える。しかし、群馬ではそうっていない。本講義では、糖尿病をひきおこすメカニズムを簡単に説明し群馬に多くの糖尿病患者がいる理由の秘密を明らかにする。
医学部 鯉淵典之教授	
カイコ： 日本と群馬におけるこれまでの歴史と将来の可能性	カイコは昆虫の一種で蛹の段階で繭を作る。繭からは絹糸を作ることができる。日本は1900年代前半においては、世界一の絹生産国であった。また、21世紀になると、遺伝子組換えの技術により、新しい特徴をもった絹やさまざまな有用タンパク質を生産できるようになった。本講座では、カイコの特徴、群馬における絹の生産の歴史、遺伝子組換え技術のカイコへの応用、などについて紹介する。
理工学部 武田茂樹教授	
日本の仏教美術：十牛図の美術的、普遍的、実践的解釈	「十牛図」を中心に、禅宗美術に関する多面的解釈について分析し、説明する。この不思議な十枚の絵図は、数世紀に渡って我々に禅の教えを伝え続けている。当該作品における宗教美術品としての特徴に触れたうえ、それぞれの絵に描かれている教えについて考える。それを通して、十牛図における普遍的(一つの宗教または信仰に限らない)、実践的、および不変のメッセージを理解する。
大学教育センター Sylvain Bergeron 講師	
日本の伝統演劇 ～群馬を越えて～	群馬県では江戸時代から農村で歌舞伎や人形芝居などの伝統演劇が盛んに上演され、その伝統が今も生きている。この講義では歌舞伎を取り上げ、群馬の庶民の娯楽としての村芝居から、群馬を越えた江戸の大歌舞伎、その進化系のスーパー歌舞伎、超歌舞伎などを取り上げ、歌舞伎と現代を生きる私たちの関係を探っていく。
社会情報学部（情報学部） 末松美知子教授	
群馬の空き家と人口問題 ーアメリカとドイツと比較してー	日本全体がそうであるように、群馬でも人口減少に伴い空き家が増加している。しかし、アメリカやドイツも日本と同様に人口が減少しているものの空き家は存在しない。その理由について考察するとともに、群馬における空き家を利用した地域活性化の取り組みの事例などを紹介し、フィールドワークも行う。
国際センター 越智貴子講師	

◆プロジェクトワーク

各自が現代日本社会に関するテーマから課題を見出し、プログラム期間中の体験やクラスでのディスカッションを通じ、解決策をまとめ、成果報告会で発表します。

【Bコース（日本語によるプロジェクトワーク）コース】

6月20日(月) 事前オンラインオリエンテーション：コロナ感染予防と入国サポート情報

	AM	PM	PM	PM
6/29 (火)	オリエンテーション	ウェルカムパーティー	キャンパスツアー	学生交流
6/30 (水)	日本語プロジェクトワーク①	日本語プロジェクトワーク②	大学施設見学	
7/1 (木)	日本事情①群馬の温泉都市と建築	伝統文化体験（邦楽）		学生交流
7/2 (金)	日本事情②日本の仏教美術：十牛図の美学的、普遍的、実践的解釈			
7/3 (土)	研修旅行（温泉）草津+四万			
7/4 (日)				
7/5 (月)	日本語プロジェクトワーク③	伝統文化体験（茶道）		学生交流
7/6 (火)	日本事情③日本の伝統演劇～群馬を越えて～	日本語プロジェクトワーク④		
7/7 (水)	日本語プロジェクトワーク⑤	日本語プロジェクトワーク⑥		学生交流
7/8 (木)	報告会準備	成果報告会		
7/9 (金)	修了式	フェアウェルパーティー		

7月22日(月) 事後学習：健康状態確認と学習成果の振り返り

◆日本語プロジェクトワーク

現代日本社会の諸問題に関して、各自設定した課題に沿った調査活動を行い、成果報告会に向けて準備を行います。調査テーマについての日本語ディスカッションや、日本語での質問紙の作成法、調査結果のまとめ方、発表のしかたなどを学びます。調査活動の結果は成果報告会で発表します。

◆日本事情講義

タイトル	授業概要
担当講師	
群馬の温泉都市と建築	これまで、日本の温泉に関して、源泉の成分や効力または湯治文化が注目されてきた。しかし、古くから、日本人は、温泉都市、温泉宿、違う種類の入浴施設の設計に力を入れてきた。そこには、「水環境と都市・建築・人間」という大きなテーマが含まれている。そのため、本授業では、「温泉都市と建築」という観点から、多くの温泉資源を有する群馬県の温泉文化を探りたいと思う。
国際センター 陳雲蓮講師	
日本の仏教美術：十牛図の 美学的、普遍的、実践的解釈	「十牛図」を中心に、禅宗美術に関する多面的解釈について分析し、説明する。この不思議な十枚の絵図は、数世紀に渡って我々に禅の教えを伝え続けている。当該作品における宗教美術品としての特徴に触れたうえ、それぞれの絵に描かれている教えについて考える。それを通して、十牛図における普遍的(一つの宗教または信仰に限らない)、実践的、および不変のメッセージを理解する。
大学教育センター Sylvain Bergeron 講師	
日本の伝統演劇 ～群馬を越えて～	群馬県では江戸時代から農村で歌舞伎や人形芝居などの伝統演劇が盛んに上演され、その伝統が今も生きている。この講義では歌舞伎を取り上げ、群馬の庶民の娯楽としての村芝居から、群馬を越えた江戸の大歌舞伎、その進化系のスーパー歌舞伎、超歌舞伎などを取り上げ、歌舞伎と現代を生きる私たちの関係を探っていく。
社会情報学部（情報学部） 末松美知子教授	

7. 応募方法等

応募方法：所属大学の担当窓口を通じて、群馬大学に申請してください。大学の担当者が電子メールで申請書を提出します。

提出期限：2021年3月31日（水）

選考方法：参加希望者の国籍、所属機関などを考慮しながら、先着順に採用します。

採用通知：採用者は、大学の協定校担当者に、群馬大学から2021年5月7日（金）までにお知らせします。

visa 申請に証明書が必要な場合には、2021年5月末までにお送りします。

*採用された場合、速やかに①パスポートの写、②購入したフライトチケットの写を提出する必要があります。

参加費の支払い方法・キャンセルポリシー：

本プログラムでは、海外からの支払いを安全、便利に行うために、Flywireを利用します。自国の銀行、クレジットカード、デビットカード、オンライン決済など、参加者が利用しやすい方法で支払いが可能です。

Flywire について

<https://www.flywire.com/>

参加費及び研修旅行費と宿泊費は、採用が決まりましたら、納付期限をお知らせしますので、期日までに支払う必要があります。キャンセルポリシーについてもその際に合わせてお知らせします。

*新型コロナウイルス感染症の状況に関わる実施／中止判断について

4月時点で、群馬大学が全面的な対面授業の実施を認めていない場合、プログラムは中止となる可能性があります。なお、4月時点で、以下の条件に当てはまる場合は参加が認められません。

- ・日本が応募者の国からの入国を認めていない場合。
- ・応募者の国が日本への渡航を認めていない場合。
- ・応募者の国から日本への渡航後、14日間の経過観察が求められる場合。

また、実施の際は、群馬大学の方針に従い、十分な感染対策を行います。状況によっては、研修旅行の中止等、プログラムの内容が変更になる場合があります。

8. 群馬大学について

群馬大学は、東京の北西 100km に位置し、教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部の各学部等から構成されています。現在、約 6,500 人の学生が在籍し、そのうち外国人留学生は約 250 人です。2019 年度は約 30 人が海外の協定校から半年間又は 1 年間留学しています。

9. 問い合わせ先

- ◇ (住 所) 〒371-8510 日本国群馬県前橋市荒牧町 4-2
群馬大学国際課 池守善洋 IKEMORI Yoshihiro
- ◇ (電 話) +81-27-220-7627 (FAX) +81-27-220-7630
(電子メール) g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp
(Web サイト) <http://www.guic.gunma-u.ac.jp/>